

<p>マクロ経済 産業動向</p>	<p>(1) 【6日 Daily Star 紙】 5日、Daily Star 紙が主催した「廃電子機器のリサイクルに関する会議」が開催され、その中で Monju 環境大臣は「廃電子機器のリサイクルには民間事業者の参入が不可欠であり、政府としても促していく必要がある」と述べた。</p> <p>(2) 【7日 Daily Star 紙】 6日、Digital Bangladesh Taskforce (座長: Hasina 首相) が開催され、①6か月以内の電子入札 (e-tending) の拡充、②2018年までの全教育機関に対するインターネットの接続、③国際ビジネスコンサルタントの任命、④パソコン機器の国内製造の促進などが今後の重点分野として定められた。</p> <p>(3) 【11日 Financial Express 紙】 巨額な貿易赤字が経常収支を2年ぶりに赤字に転落させた。2014/15年度 (2014年7月～2015年6月) の経常収支は16.5億ドルの赤字となり、2013/14年度の黒字 (14億ドル) から転落。民間シンクタンクの研究者は「貿易赤字の拡大と海外送金の鈍化が、赤字転落の主要な原因である」と語った。</p> <p>(4) 【11日 Daily Star 紙】 6月のモバイルバンキングの取引高は1,297億タカに達し、前月の1,260億タカから増加した (1日当たりの平均取引高は43億2,000万タカ)。またモバイルバンキングの利用者数も、前月比2.86%増の2,860万人に上った。</p> <p>(5) 【11日 Financial Express 紙】 種苗市場における民間企業が占める割合が徐々に増加している。国内の種苗市場は現在114万トン (1,050億タカ) の規模にまで成長しているが、この内26～27%は民間企業によって供給されている。種苗市場は従来より公的機関が大きな割合を占めており、民間企業による供給量は2012年は20～21%のみであった。</p> <p>(6) 【13日 Daily Star 紙】 近年の高収量および高価格により、農民は徐々に小麦栽培に戻ってきている。2014/15年度 (2014年7月～2015年6月) の小麦の耕作面積は、前年度の42.9万ヘクタールから43.7万ヘクタールに増加した他、生産量も前年度比4.29%増の134.8万トンに達した。</p> <p>(7) 【20日 Daily Star 紙】 気候変動枠組条約 (UNFCCC) 事務局は、太陽光パネルの普及に取り組むバングラデシュの2つの機関 (IDCOL 及び Grameen Shakti) に対し、総額356万ユーロ相当の排出権 (395,286 carbon credit) を付与した。バングラデシュの農村地域では、ランプを灯す為に一帯当たり</p>
-----------------------	--

	<p>平均8リットル（月間）の軽油が消費されていると言われる中、太陽光システムの普及により軽油燃焼による二酸化炭素の軽減が期待されている。</p> <p>(8) 【21日 Financial Express 紙】 化粧品市場は過去10年間、毎年10%の成長を続け、現在では1,500億タカの規模に達している。これは中間所得層の購買力の増加に伴い、製品ラインナップも廉価品から嗜好品まで幅が広がったことが背景。また市場の内69%は現地企業が占めている他、化粧品の輸出額も2億3,500万タカ（2014/15年度）に達した。</p> <p>(9) 【23日 Financial Express 紙】 2014年の医薬品市場は前年比11.37%増の14億ドルに達した。また2015年第一四半期（1月～3月）も前年より2%高い成長率を記録している。バングラデシュでは人口の内30%の人々が消化や胃腸に関する疾患に悩んでいると言われ、売上の上位5つの医薬品は何れも消化器系の薬である。</p> <p>(10) 【28日 Daily Star 紙】 27日、バングラデシュ政府はガス及び電気を9月1日から値上げすることを発表した。電気はユニット当たり6.15タカから6.33タカに、またガスはシングル・バーナー使用者は400タカから600タカに、ダブル・バーナー使用者は450タカから650タカに値上げされる。</p> <p>(11) 【31日 Daily Star 紙】 McKinsey & Company 社の調査によれば、バングラデシュは最低でも今後5年間は世界最大の縫製品供給国の地位を維持できそうだ。同社は2015年1～2月に縫製品販売企業の主要40社の購買責任者に対し、今後の購買先として考えている上位3ヶ国を回答して貰う調査を実施。この結果、バングラデシュは48%の回答者が上位3か国の何れかに挙げており、全体で最も高い数値を示した。</p>
<p>財政 税制</p>	<p>(1) 【27日 Daily Star 紙】 26日、歳入局は輸入砂糖に対する関税を20%引き上げることを決定した。これは砂糖の国際市場価格の下落に伴う輸入量増加に対応した措置。この関税引き上げは27日より実施され、精製砂糖は1トン当たり4,500タカの関税が追加的に課されることになる。</p>
<p>金融・物価・ 為替</p>	<p>(1) 【5日 Daily Star 紙】 サイクロンや長雨の影響により野菜価格が高騰している。ダッカの野菜市場では緑チリが先週の1キロ=70タカから100タカに値上がりしている他、ナスも1キロ=50タカから70タカに値上がりした。</p> <p>(2) 【5日 Daily Star 紙】 今年度当初1か月（2015年7月）の物価上昇率は6.35%となり、前月より0.11%上昇した。食料品の物価上昇率は6.07%（前月比0.25%</p>

	<p>減)であった一方、非食料品は6.8% (前月比0.65%増)であった。Kamal 計画大臣は「イード時における非食料品の物価上昇が全体の物価上昇率を押し上げた」と述べた。尚、先般中央銀行より発表された金融政策では、今年度の物価上昇率を6.2%に抑える目標を掲げていた。</p> <p>(3) 【7日 Daily Star 紙】 2014/15 年度 (2014 年 7 月～2015 年 6 月) の民間向け融資残高の伸び率は13.19%であり、政府目標の15.5%を下回った。中央銀行の担当官は「これは1月から3月まで続いた政治不安が民間の経済活動に影響を与えた為」との見方を示した。</p> <p>(4) 【14日 Daily Star 紙】 銀行セクターでは政治的不安により融資需要が低迷する中、銀行及びノンバンク 87 社による競争激化により貸出金利が低下している。企業向け貸出金利は1年前の13～14%から現在は10.5～11%に下落した他、少額融資における貸出金利も1年前の16%から14%に低下している。</p> <p>(5) 【18日 Daily Star 紙】 銀行セクターにおける6月末の不良債権額は、3月末より3.91%下落し5,251億タカとなった。また融資残高に占める不良債権比率も3月末は10.47%だったものが、6月末は9.67%となった。</p> <p>(6) 【19日 Daily Star 紙】 Institute of Microfinance の調査によれば、金融サービスにアクセスしている人口割合は2010年の77%から2014年は79%に増加した。これはマイクロファイナンス機関の活動と共に、モバイルバンキングが広まった為である。</p> <p>(7) 【21日 Daily Star 紙】 2014/15 年度 (2014 年 7 月～2015 年 6 月) の銀行セクターにおける貸出残高の伸び率は、国営銀行では6.95%、外資系銀行では2.47%を示した一方、商業銀行では15.65%の高い伸び率を示した。ある商業銀行幹部は、このような民間商業銀行による高い伸び率は、都市部郊外における中小企業セクターへの融資が大きく増加した為との見方を示した。</p>
投資	<p>(1) 【30日 Daily Star 紙】 29日、世界有数の格付会社である Fitch 社は、今年度のバングラデシュの経済成長は6.5%に留まるとの見方を示した。同社は、2015年1月～3月の政治的不安が直接的に経済成長に与える影響は小さいとしながらも、政治的不安による外国投資や輸出の減少がリスク要因との見方を示した。</p>
貿易	<p>(1) 【2日 Daily Star 紙】</p>

	<p>2014/15年度（2014年7月～2015年6月）の貿易赤字は、前年度比47.2%増の100.1億ドルに達し、遂に100億ドルの大台を突破した。これは輸出が僅か3.37%しか増加しなかったのに対し、輸入は11.49%と大幅に増加した為である。</p> <p>(2) 【10日 Daily Star 紙】 米国商務省によれば、2015年1月～6月のバングラデシュの米国向け縫製品の輸出額は、前年同期比9.47%増の26.8億ドルに達した。2014年の対米輸出額は48.3億ドルで2013年の49.4億ドルから下落したことを勘案すると、バングラデシュの縫製品における対米輸出は回復傾向にあると言える。</p> <p>(3) 【16日 Daily Star 紙】 2014/15年度（2014年7月～2015年6月）の革製品の輸出額は11.3億ドルに達し、2年連続で10億ドルを超えた。革製の靴、鞆、財布、ベルトなどが主に欧州諸国や北米向けに輸出されている。今年度は前年度比7.28%増の12.1億ドルの目標値が設定されている。</p> <p>(4) 【20日 Daily Star 紙】 2015年1月～6月にEU向けに輸出された野菜・果物において、143件が荷揚げを拒否された。これは①害虫の存在、②植物衛生証明書の不備及び偽造が主な原因。この143件は同期間にEUにより荷揚げを拒否された総数の67%を占める。</p> <p>(5) 【23日 Daily Star 紙】 2014/15年度（2014年7月～2015年6月）の中国向け縫製品の輸出額は、前年度比26%増の3億424万ドルに達した。これは中国の中間所得層に対する廉価品の売り上げが好調だった他、中国は2011年4月にバングラデシュから輸入される4,721品目を関税免除したことが影響。</p>
雇用問題 海外出稼ぎ 社会保障	<p>(1) 【4日 Daily Star 紙】 今年度当初1か月（2015年7月）の海外送金額は、前月比3.47%減の13.9億ドルに留まった。中央銀行は「これは、先月はイード連休に向け海外送金額が増加したことの反動であり一時的な現象である」との見方を示した。</p>
対日関係 日本企業	<p>(1) 【11日 daily sun 紙】 Amu 工業大臣は渡邊正人日本大使の表敬訪問を受け、「現在バングラデシュ政府は国内での自動車産業の育成に力点を置いている」と述べ、同分野に対する日本の支援を求めた。</p> <p>(2) 【11日 Financial Express 紙】 日本の情報通信企業が中国、ベトナムに次いでバングラデシュに進出した。株式会社モンスター・ラボは、既にバングラデシュに事務所を開設し2025年までに5,000人を雇用する予定。同社CEOは「バング</p>

	<p>ラデシュは優秀な若者が多く、投資に最適と判断した」と述べた。</p> <p>(3) 【21日 Daily Star 紙】 2014/15 年度 (2014 年 7 月～2015 年 6 月) の日本に対する縫製品の輸出額は、前年度比 14.02%増の 6 億 5,255 万ドルに達した。これは特恵関税制度により関税免除となっている綿布製品の輸出額が前年度比 16.89%伸びた他、ニット製品も原産地規制が緩和されたことにより 10.43%増加したことが影響したものの。</p> <p>(4) 【24日 Daily Star 紙】 23 日、渡邊正人日本大使は Hasina 首相を表敬訪問した。この中で Hasina 首相は「我々は外国投資家の為に経済特区を建設しており、日本企業を誘致して貰いたい」との述べたのに対し、渡邊大使は「多くの日本企業のバングラデシュへの投資に対する関心は高い」と述べた。</p>
社会	<p>(1) 【5日 Daily Star 紙】 先週バングラデシュに襲来したサイクロン (名称 Komen)によりチッタゴン港では 1,610 万タカの被害に見舞われた。サイクロンが接近した 7/30 と 31 の 2 日間で、チッタゴン港では 22,198 トンの積み下ろしと 3,300 トンの荷積みが出来なかった。</p> <p>(2) 【8日 Daily Star 紙】 7 日、白昼の中、人気ブロガーが自宅で殺害された。午後 1 時 15 分、4 名の暗殺者がこの人気ブロガー宅に侵入し、首や胸など十数か所をめった刺しにした他、妻を縛り上げた。その後、Ansar AI Islam (インド亜大陸のアルカイダ) が犯行声明を発表。イスラム原理主義者によりブロガーが殺害されたのは今年で 4 人目。</p> <p>(3) 【11日 Daily Star 紙】 10 日、HSC の結果が発表され、合格者は 34,721 人で合格率は 65.84%であった。これらは共に昨年の 57,789 人、75.74%より大幅に下落。関係者は、英語および今年より必須科目となった情報通信の点数低下や、政治的不安定による勉強時間の不足が原因との見方を示した。</p> <p>(4) 【20日 Daily Star 紙】 18 日、Hasina 首相は Mukherjee インド大統領夫人の葬儀に出席する為、デリーを訪問。Modi 首相とも会談し、両国間の貿易拡大や経済依存関係の深化について話し合った。</p>

(了)